

## かながわ教育大綱（案）に対する意見と対応案

### 第1回神奈川県総合教育会議での主な意見と対応案

委員名等	区分	意見等	かながわ教育大綱における対応案
吉田委員	いのち	「いのち」に加え、心をキーワードにしたい。 「いのちの授業」というのは思いやり・やさしさであり、道徳心を育てるのは非常に大事。これを植え付けることで、暴力行為、不登校などを未然に防げる。	【修正】1 - 2 子どもたち一人ひとりの人権を尊重するとともに、 <b>心</b> を大切に教育を推進します。また、いじめの未然防止、早期発見・解決を図り、暴力行為、不登校など課題を抱えた児童・生徒への支援などの対応を強化します。
倉橋委員	企業との連携	企業・社会とつながっている部分の記載が弱い。 社会ではいろいろな種類の人間が要求されているので高校も多様化すべき。	【修正】2 - 1 子どもたちの生きる力を育むため、確かな学力の向上を図るとともに、 <b>社会との関わりの中で</b> 、働き方をはじめ、生涯にわたる生き方を見つけていく力を養うキャリア教育の実践、企業との連携による職業教育の充実に取り組みます。
具志堅委員長	就学支援	貧困な家庭に対する支援として、奨学金制度も含め就学支援を大綱にはっきりと文言を残すべき。	【追加】4 - 3 <b>高校生等の一人ひとりの家庭環境に応じた就学支援に取り組みます。</b>
知事	パラスポーツ	健康と病気の間はグラデーションという「未病」の考え方にたち、健常者と障がい者がはっきりわかれているものではなく、みんながどこかで障がいとつながっている。そういう発想で、スポーツをとらえることが必要。	【追加】6 - 5 <b>すべての人が自分の運動機能を生かして楽しみながらスポーツする、観る、支える「かながわパラスポーツ」の普及に取り組みます。</b>
河野委員	学力の向上	もっと神奈川県で力をつけられるような仕組みづくりが必要。	意見については、案の中に、盛り込み済み。
	キャリア教育	生涯にわたる生き方を見つけていくというのはすごく重要。	
	就学支援	貧困家庭に対し、地域のサポートや地域に相談者がいるなど、地域づくりと学校教育が連携していくことが重要。	
	教育環境の整備	学校や施設の老朽化が目立つため、安全のため耐震化・老朽化に対するさらなる対応をお願いしたい。	
高橋委員	子どもの未病	社会の変化の中で、食・運動・社会参加について考えていくことがこの会議の課題。	
吉田委員	子どもの未病	小さい時から運動、意識を持って未病を防ぐことは、メンタル面にも非常に良い影響を与える。	
桐谷教育長	就学支援	県全体の高校生たちの就学支援という面で、総合教育会議の中で議論して整理したい。	

